

生産情報一元で生産性向上 全体最適化で更なる効率化へ

お客様工場では、各工程間の距離が離れており、連携不足によるモノの作り過ぎや無駄な待機時間がありました。システム導入による情報一元化により、効率的な生産体制の構築と、生産性を向上させました。

お客様のプロフィール

会社名
飲料充填工場様

従業員数
約350人

食品飲料

工場

業種
飲料受託充填事業

所在地
国内4工場

導入前の課題

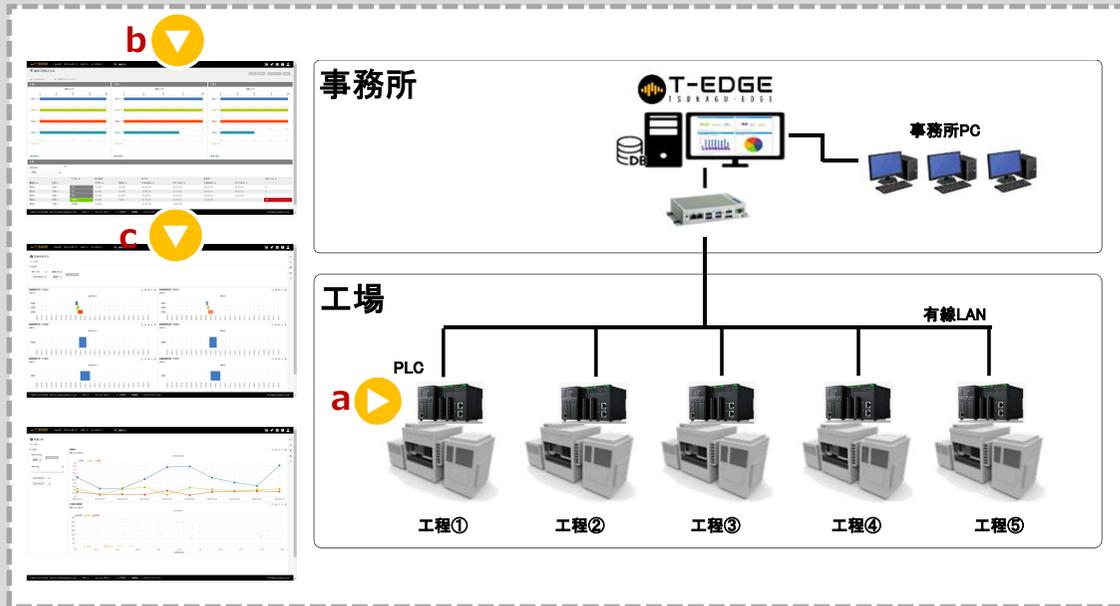
- 他工程の状況がわからず過剰に生産
- 無駄な待機時間により不要なコスト発生
- トラブル時の全体状況把握に時間がかかる

選んだ理由

- 既存設備からデータを取得し帳票で見える化
- 日々変化する現場要求に対応できるシステム
- 生産設備の情報も追加して改善に取り組める

導入の効果

- 工程の状況に合わせた効率的な生産
- 待ち時間削減による従業員の余裕工数確保
- 設備待機時間改善による光熱費削減



他工程の状況を把握することにより過剰な生産を削減
待ち時間削減により、全体の作業時間を短縮

■ポイント

- a ▶ 生産設備に設置したPLCよりデータ収集
- b ▶ 生産実績やトレンドをリアルタイムで表示
- c ▶ 設備能力情報により生産終了予定時間を表示

■導入費用・納期

- T-EDGEが外開発 400万円
- T-EDGE利用料 60万円/年
- PLC増設 150万円 ※工事費は除く
- 工期：約3カ月